

コロナ濃厚接触者の一時保護所 室蘭

# 星空ホームに 収束の願い1000

室蘭市母恋南町の児童養護施設・わかすぎ学園（伊藤裕司施設長）は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、敷地内に濃厚接触者の一時保護所「星空ホーム」を建設した。木造平屋建ての1LDK（床面積34平方メートル）でテレビ、洗濯機、冷蔵庫などの備品も設置。施設内のクラスター回避に向けて取り組んでいる。（奥野浩章）



テレビや冷蔵庫、台所などが設置された星空ホーム

## 「わかすぎ学園」に完成

国の児童虐待・DV対策等総合支援事業に、濃厚接触者と認定された子どもを、一時的に周りが

が追加されたことから、隔離する施設として補助金を申請。昨年12月に着工し、3月15日に完成。消防の検査などを経て22日に引き渡された。

同施設では、2〜18歳の18人が生活。男女や年齢層で4区画に分けて、寝室や勉強部屋を使用している。一時保護所の名称を子どもたちに募集し、「コロナが収束するよう、星に願いをかける。」（伊藤施設長）「星空ホームに決まった。」

伊藤施設長は、「クラスターが起こらないよう、安全安心に暮らせるのが一番」と話す。コロナ収束後は自立して生活できるよう、一人暮らしが経験できる施設として活用する方針で「家庭的な雰囲気でも子どもを育てることが重要。早くそういう使い方ができる日が来てほしい」と願っている。